

第 6 次中期経営計画

(2025-2029)

～次の 100 年に向けて動き出す

スポーツで幸せな滋賀を創造する～



2025 年 4 月策定
公益財団法人滋賀県スポーツ協会



2025 年滋賀県スポーツ協会 100 周年

目 次

第 6 次中期経営計画推進の構成	1
1 計画の背景	2
2 長期展望	2
滋賀県スポーツ協会 100 年構想	3
(1) スポーツで公正かつ福祉豊かな滋賀を創造する	
(2) 環境と調和したスポーツライフを創造する	
(3) 共生と友好に満ちた幸福の滋賀を築くことに貢献する	
3 取組方針（3つの柱）	4
(1) 基本的な考え方	
(2) 取組方針【3つの柱】	
(3) 遊びのイメージ	
(4) 事業展開図	
4 第 6 次中期経営計画の具体的な取り組み	6
(1) 自分らしくスポーツを遊(す)る！	6
(2) スポーツで遊び場を創る！	8
(3) アスリートを育てる！	10
(4) 遊々(ゆうゆう)、スポーツで地域滋賀を支える！	12
5 計画を実現するための組織の充実・強化	14
6 第 6 次中期経営計画取組に対する成果指標	16
資料 第 1 次～5 次中期経営計画の取組経過と成果	18
(1) 第 1 次中期経営計画（平成 19 年度から平成 21 年度）	18
(2) 第 2 次中期経営計画（平成 22 年度から平成 24 年度）	18
(3) 第 3 次中期経営計画（平成 25 年度から平成 27 年度）	19
(4) 第 4 次中期経営計画（平成 28 年度から平成 30 年度）	20
(5) 第 5 次中期経営計画（平成 31 年度から令和 6 年度）	21

第6次中期経営計画推進の構成

計画背景

滋賀県基本構想
滋賀県スポーツ推進計画
第5次中期経営計画
スポーツ宣言日本

「変わる滋賀 続く幸せ」
「スポーツで滋賀を元気に！感動を未来へ！」
～2025 滋賀国スポ・障スポの成功と創立100周年に
向けての具体的施策の方向～
「二十一世紀におけるスポーツの使命」

長期展望

滋賀のスポーツ100年構想

スポーツで公正かつ福祉豊かな滋賀を創造する

⇒ 「スポーツ滋賀」の創造

環境と調和したスポーツライフを創造する

⇒ 環境と調和の滋賀

共生と友好に満ちた幸福の滋賀を築くことに貢献する

⇒ 友好と幸福の滋賀

取組方針
3つの柱

ひと 環境 すべての県民が遊び感覚で楽しく、自主的なスポーツ活動を実施する
スポーツ文化を擁した「スポーツ滋賀」を目指し、県内のスポーツで遊
べる環境を充実する

地域貢献 未来へつなぐスポーツ活動を創出し、スポーツイベントを活用した街
づくりをする

※ 運動・スポーツの原点ともいえる「遊び（あそび）」をキーワードに展開する
「遊び」のイメージ

あ Athlete Support

≡ アスリート支援

そ Social fun Sports activities

≡ 社会的で楽しいスポーツ活動

び Being of "Sports Shiga"

≡ 「滋賀のスポーツ」であること

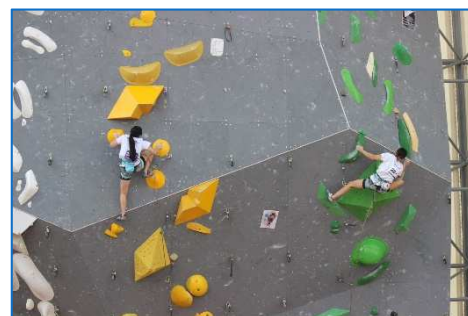
第6次
基本方針

- (1) 自分らしくスポーツを遊(す)る！
- (2) スポーツで遊び場を創る！
- (3) アスリートを育てる！
- (4) 遊々(ゆうゆう)、スポーツで地域滋賀を支える！

1 計画の背景

公益財団法人滋賀県スポーツ協会は、1925年設立以来100年にわたり本県のスポーツ振興に努めてきました。2025年には滋賀県で2回目の国民スポーツ大会(旧国民体育大会)が開催され、県民がより一層スポーツの魅力を感じるとともに、地域における新たなシンボルスポーツの誕生やスポーツボランティア文化の浸透など様々なレガシーが創出され、地域の絆やスポーツの力を再認識する貴重な機会となります。この成果を次世代へと確実に継承し、地域の活力や健康づくり、青少年の健全育成へとつなげていくことが、今後の当協会の重要な使命です。

中期経営計画では、スポーツが更に県民に親しまれるよう、持続可能で活力あるスポーツ環境の実現に向けた取り組みを推進して参ります。

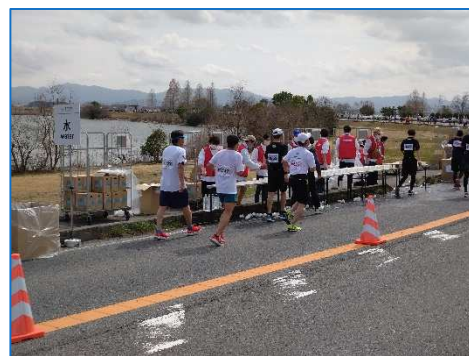


2 長期展望

滋賀県スポーツ協会100年の歴史のなかで培われた遺産を継承するとともに、(公財)日本スポーツ協会と(公財)日本オリンピック委員会が発表した「スポーツ宣言日本」の志を受け継ぎ、滋賀のスポーツの発展を目指し、更なる100年に向けて取り組みを進める必要があります。

当協会は「スポーツの力で滋賀を元気に!」をテーマとして、健やかで活力に満ちた地域社会の実現を目指して取り組んできました。今後、人口減少や少子高齢化が進む中で、スポーツがもたらす健康づくり、地域の絆の強化、青少年の成長支援といった価値は、ますます重要性を増していきます。

滋賀のスポーツがこれまで果たしてきた役割に加えて、地域社会の発展及び課題解決に大きく貢献し、国内外に誇れるスポーツとなり未来へとつながるよう、滋賀におけるスポーツの使命を果たして参ります。



滋賀県スポーツ協会 100年構想

(1) スポーツで公正かつ福祉豊かな滋賀を創造する

「スポーツ滋賀」の創造

スポーツを通して、広く人々のつながりを深め、滋賀国スポ・障スポ大会で高まった競技力やスポーツ熱が続くよう、人と人との絆を培うスポーツの力で「スポーツ滋賀」を形成し、共に地域に生きる喜びを広げ、すべての県民の生活を豊かにします。

また、平等にスポーツを実施することができる環境を整えることで、公正で福祉豊かな地域生活の創造に貢献します。



(2) 環境と調和したスポーツライフを創造する

環境と調和の滋賀

滋賀の豊かな自然環境を活用したスポーツの振興や、環境に配慮した事業運営、環境保全とスポーツ活動を両立させるルールづくりや啓発活動をおこないます。

そして滋賀県にふさわしい、持続可能で誰もが楽しめるスポーツ環境の実現を目指します。



(3) 共生と友好に満ちた幸福の滋賀を築くことに貢献する

友好と幸福の滋賀

スポーツを通して、障害者、高齢者、子ども、女性など多様な人々が共に楽しめる遊び場をつくとともに、個々の能力を自在に活用できる楽しみの場を広げます。

また、人とのつながりを深め、お互いを思いやり、尊重する心を育てることで、世代や立場を超えて支え合う「共生」と、笑顔でつながる友好的な社会づくりを目指し、誰もが暮らしに満足できる「幸福の滋賀」に向けて取り組みます。



3 取組方針（3つの柱）

（１） 基本的な考え方

滋賀県スポーツ協会１００年構想の実現に向け、すべての人が平等にスポーツに参加できる環境を整え、公正な機会の確保と、障害者・高齢者・子ども・女性など多様な人々の参加支援をするとともに、自然豊かな滋賀の魅力を活かし、スポーツ活動と環境保全が両立する持続可能なライフスタイルの実現を目指し、以下の３つの方針を基に取り組みを進めていきます。

（２） 取組方針【３つの柱】

スポーツで幸せな地域滋賀を拓く

ひと

すべての県民が遊び感覚で、楽しく、自主的なスポーツ活動を実施する

環境

スポーツ文化を擁した「スポーツ滋賀」を目指し、スポーツで遊べる環境を充実する

地域貢献

未来へつなぐスポーツ活動を創出し、スポーツイベントを活用した街づくりをする

（３） 遊びのイメージ

運動・スポーツの原点ともいえる「遊び(あそび)」をキーワードに展開します。

★めざす「遊び」の姿

あ	Athlete Support	≡	アスリート支援
遊び	そ	Social fun Sports activities	≡ 社会的で楽しいスポーツ活動
び	Being of "Sports Shiga"	≡	「スポーツ滋賀」であること

(4) 事業展開図

中期経営計画

- 2007 年 第 1 次 : 「新たなスポーツ空間へのチャレンジ」
- 2010 年 第 2 次 : 県民から支持される「新たなスポーツ協会ブランドの確立」
- 2013 年 第 3 次 : 2 巡目国体への躍進
- 2016 年 第 4 次 : 「スポーツ健康滋賀」の実現と 2024 年滋賀国体の成功を目指して
- 2019 年 第 5 次 : 「2025 年滋賀国スポ・障スポの成功と創立 100 周年に向けての
具体的施策の方向」

2025 年 第 6 次 : ～次の 100 年に向けて動き出す
スポーツで幸せな滋賀を創造する～

(1) 自分らしくスポーツを遊(す)る！

- ・ スポーツを気軽に遊び感覚で取り組む機会の充実
- ・ 子どもの運動遊びの普及・推進
- ・ 女性が気軽にスポーツを楽しめる場の充実
- ・ 働く世代がスポーツを始めるきっかけづくりの提供

(2) スポーツで遊び場を創る！

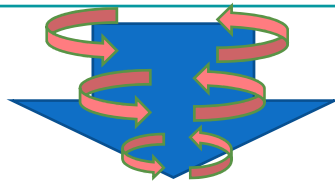
- ・ 身近に感じる「滋賀県民総スポーツの祭典」の開催
- ・ スポーツ少年団活動の充実とガバナンス向上
- ・ 総合型地域スポーツクラブの地域連携・協働のための支援
- ・ ジュニア・ユース世代の活動促進
- ・ 地域スポーツ指導者への活動支援

(3) アスリートを育てる！

- ・ 「勇気と希望」を与える選手団の編成と派遣
- ・ 滋賀で育った子どもたちが全国・世界で活躍
- ・ 成年選手や指導者の育成・強化
- ・ 県立施設の特性を活かした選手の育成・強化
- ・ 企業によるスポーツの活性化
- ・ アスリートをサポートする医・科学支援体制の強化
- ・ 競技団体の組織・運営体制の充実・強化

(4) 遊々(ゆうゆう)、スポーツで地域滋賀を支える！

- ・ 大会レガシーを活かした郡市スポーツ協会との連携・協働推進
- ・ 魅力ある「スポーツ滋賀」の発信
- ・ スポーツイベントを活かした地域の活性化
- ・ 国際スポーツ交流の推進
- ・ 共生社会の実現を目指したスポーツ振興



滋賀県スポーツ協会 100 年構想

滋賀のスポーツ・環境と調和・友好と幸福

4 第6次中期経営計画の具体的な取り組み

(1) 自分らしくスポーツを遊(す)る!

～Social fun Sports activities

≡ 社会的で楽しいスポーツ活動～

本県の成人のスポーツ実施率の向上や人口減少社会を見据えた生涯スポーツの推進について、県とも連携を密にし、県民誰もが、「する」「みる」「支える」の各場面で自らスポーツに取り組むことのできる機会づくりを進めます。また、これらの取り組みが、健康寿命の延伸につながるよう健康づくりなどの計画との連動を図ります。



- ① 成人の週1回以上のスポーツ実施率：52.1%（2024年度）→70%（2029年度）
- ② 児童生徒の「運動やスポーツをすることが好き」：（小5、中2スポーツ庁調査）の回答割合の向上

取組1 スポーツを気軽に遊び感覚で取り組む機会の充実

- ① イベントや各指定管理施設におけるヨガ、ピラティスおよびラジオ体操等の普及など、スポーツを通しての健康・体力づくりや、誰もが取り組める身近なスポーツを提供します。
- ② イベントや各指定管理施設において、幼児、子育て世代を対象とした事業を拡大し参加を促します。

到達目標

- ① 当協会生涯スポーツ関連事業総参加者数
80,204人(2024年度)→92,000人(2029年度)
- ② 「運動遊び」「健康」「家族」に関連した取組数
31回（2024年度）→計40回(2029年度)
- ③ 各指定管理施設におけるスポーツ教室の開催数
90回(各施設毎年10回程度)

取組2 子どもの運動遊びの普及・推進

- ① 幼児の運動遊び（ACP（※1））や子どもの運動遊びプログラム（Pic（※2））を、スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブと連携し、子どもたちの運動の機会を増やします。
（※1 Active Child Program：子どもたちが楽しみながら積極的にからだを動かせる運動プログラム）

（※2 Parent Infant Child の略 幼児期の運動遊びの促進や、子育て世代の運動機会の充実を目的に親子で一緒に体を動かすメニュー）

到達目標

- ① 指定管理施設でのスポーツ教室やイベントにおけるACPやPicを活用した事業数
1教室（2024年度）→5教室（2029年度）

取組 3 女性が気軽にスポーツを楽しめる場の充実

- ①各指定管理施設において、誰もが参加しやすいスポーツ教室の開催や女性が気軽に参加できる環境づくりを行うなど、女性のスポーツ参加の機会を増やします。

到達目標

- ①指定管理施設でのスポーツ教室・イベントへの女性参加の増加

取組 4 働く世代がスポーツを始めるきっかけづくりの提供

- ①働く世代の人が、日常生活からスポーツや運動に興味・関心を持ち、スポーツを始めるきっかけづくりを行い、主体的に運動できるように努めます。
- ②30歳以上のスポーツ愛好者が誰でも参加できる生涯スポーツの大会（関西マスターズゲームズ）の参加者数を増やす取り組みを進めます。
- ③全身運動による基礎代謝のアップや体力年齢の若返り等の効果をもたらすラジオ体操の普及に努めます。

到達目標

- ①関西マスターズゲームズへの県内参加者数
1,065人(2024年度)→1,300人(2029年度)
- ②指定管理施設でのスポーツ教室で初心者が参加できる事業数
22教室(2024年度)→33教室(2029年度)
- ③指定管理施設でのラジオ体操普及事業数
5施設(2024年度)→全施設(2029年度)

(2) スポーツで遊び場を創る!

～Social fun Sports activities

≡ 社会的で楽しいスポーツ活動～

県民参加型のシンボルイベントである本県の「県民総スポーツ祭典」を、「する」「みる」「支える」場として、今後も県民に愛され続けられるように、魅力あふれる大会へと発展させます。

一方で、ジュニア・ユース世代のスポーツを取り巻く環境は、急激な少子化にともない、中学校の運動部活動のあり方やスポーツ指導者の育成・確保など、様々な課題を抱えています。こうしたスポーツ環境の変化に柔軟に対応しつつ、よりよい施策を展開します。



取組1 身近に感じる「滋賀県民総スポーツの祭典」の開催

- ① 県民参加型のシンボルイベントである滋賀県民総スポーツの祭典が、国スポで高揚したスポーツ気運を更に向上させ、県民の心に根付く祭典となるよう取り組みます。
- ② 「親子スポーツフェスタ」が、親子で身体を動かすことの喜びを味わい、子どもたちがスポーツに親しみ活動するきっかけになるよう、内容の充実・拡大に努めます。

到達目標

- ① 7部門(※3)における参加人数

35,812人(2024年度)→40,000人(2029年度)

※3 (滋賀県民スポーツ大会の部、スポーツ・レクリエーション大会の、レクリエーション大会の部、総合型スポーツクラブ交流大会の部、部びわ湖駅伝スポーツフェスティバルの部、障害者スポーツ大会の部、びわ湖マラソンの部)

取組2 スポーツ少年団活動の充実とガバナンス向上

- ① 子どもたちにスポーツ活動の楽しさや魅力を伝え、フェアプレーの精神や他者への敬意、チームワークなどを大切にする心と体を育てるなど、青少年の健全育成に努めます。
- ② スポーツ少年団の活動においては、他の団と交流を深めることは仲間づくりの機会でもあります。互いの努力を認め尊重し、思いやりや協力が育つ活動を展開します。
- ③ 子どもたちや育成母集団との対話を大切に、風通しの良い開かれた組織運営を行い、安心・安全なスポーツ環境づくりを目指します。

到達目標

- ① スポーツ少年大会・ジュニア・リーダースクールの参加者数

102人(2024年度)→140人(2029年度)

- ② 単位スポーツ少年団が保護者に対して「運営方針」を提示している団数

152団(2024年度)→200団(2029年度)

取組 3 総合型地域スポーツクラブの地域連携・協働のための支援

- ①総合型地域スポーツクラブが、スポーツと親しみ交流できる場となるよう「滋賀県広域スポーツセンター」(※4)が中心となり、人材の育成や組織運営体制、特にガバナンスの強化に向けた取組を支援します。

※4 総合型地域スポーツクラブを支援する拠点。

県からの委託を受け、当協会内に設置している。

- ②各総合型地域スポーツクラブの充実・発展のため、本協会が中間支援組織として登録・認証制度の運用を進め、登録クラブおよび認証クラブの増加を目指します。

到達目標

- ①総合型スポーツクラブのクラブマネジメント資格保有者数(アシスタントマネジャー(クラブマネジャーを含む))

64人(2024年度)→80人(2029年度)

- ②総合型スポーツクラブの公認スポーツ指導者数

42人(2024年度)→65人(2029年度)

- ③県内総合型スポーツクラブにおけるガバナンスコードの遵守状況の公表率

55%(2024年度)→100%(2029年度)

取組 4 ジュニア・ユース世代の活動促進

- ①子どもたちにスポーツ・運動(遊び)の楽しさや、安全・安心な活動を提供することができる指導者を増やすため、各種養成講習会及び更新研修の量的・質的充実を図ります。
- ②子どものスポーツ機会の増加や、学校部活動の地域展開(連携)の受け皿としての体制確立を図ることを目的に、総合型地域スポーツクラブとスポーツ少年団の連携に向けた取り組みを行います。

到達目標

- ①指導者研修会の満足度

81%(2024年度)→90%(2029年度)

取組 5 地域スポーツ指導者への活動支援

- ①当協会が運営する「スポーツ指導者情報提供システム」を活用し、スポーツ指導者へリアルタイムにスポーツに関わる情報を提供します。また、日スポ公認スポーツ指導者の活用や学校部活動の地域展開の一役を担うため、県が設置するスポーツコーチバンク事業との連携を図ります。
- ②スポーツ指導者制度の改変に対応して、資格更新となる滋賀県スポーツ指導者研修会や日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の養成研修を開催します。

到達目標

- ①スポーツ指導者情報提供システムの登録者数

384人(2024年度)→450人(2029年度)

- ②日本スポーツ協会公認スポーツ指導者数

4,788人(2024年度)→5,050人(2029年度)

(3) アスリートを育てる！

～Athlete Support

≡ アスリート支援～

アスリートの活躍は多くの人に感動を与え、「する」「みる」「支える」行動のきっかけとなり、競技スポーツの普及活動や部活動、さらには生涯スポーツや健康づくり活動にも波及します。2025 滋賀国スポで高まった競技力やスポーツ熱を継続させ、県民が豊かで健やかな生活を送るために、加盟団体とのつながりを大切にしながら、ジュニア世代の育成、成年選手の活動環境の整備、医・科学サポートスタッフとの連携、指定管理施設の活用、県企業スポーツ振興協議会の取り組み等を通じて、競技水準の維持やスポーツの活性化を図ります。

目標…天皇杯順位 15 位以内（2029 年国スポ）



取組 1 「勇気と希望」を与える選手団の編成と派遣

- ①日本最大のスポーツの祭典である国民スポーツ大会および近畿ブロック大会での活躍が期待できる選手団を派遣するために各競技団体と連携し、選手の強化と選考・確実な派遣、現地での激励等を行います。

到達目標

- ①本大会選手派遣数 490 名
- ②天皇杯順位 15 位以内

取組 2 滋賀で育った子どもたちが全国・世界で活躍

- ①各競技団体と密接に連携し、次世代アスリート発掘・育成プロジェクトや県立施設を活用した一貫指導を通して、子どもたちの可能性を伸ばし、トップアスリートへ導きます。
- ②中学校体育連盟や高等学校体育連盟と連携し、ジュニア・ユース世代の選手の育成・強化に努めます。
- ③魅力ある指導により、競技力の高い選手の県外流出を防ぎ、少年種別の競技力の定着を図ります。

到達目標

- ①滋賀レイキッズ出身選手の活躍
全国大会入賞 40 名 国スポ大会入賞 10 名
- ②近畿ブロック突破率(少年種別)
40.0% 維持
- ③国スポ少年選手入賞数
35 種目 250 点 維持

取組 3 成年選手や指導者の育成・強化

- ①企業・大学・クラブ等と連携し、選手の活動拠点の確保や活動機会の充実に向けた支援に取り組みます。
- ②滋賀県出身選手をふるさと選手として登録・出場できるよう競技団体と共に取り組みます。
- ③トップアスリートが選手・指導者として活躍できるよう支援体制の構築に努めます。

到達目標

- ①近畿ブロック突破率(成年種別)
47.5% 維持
- ②国スポ成年選手入賞数
65 種目 500 点 維持

取組 4 県立施設の特性を活かした選手の育成・強化

- ①漕艇場とヨットハーバーを拠点として、関係競技団体と連携して取り組んでいる湖上スポーツの選手の育成強化事業を引き続き実施するとともに、各地域に立地する県立施設の特性を活かした競技種目にも拡大し、選手の育成・強化に取り組めます。

到達目標

- ①湖上スポーツ育成・強化対策事業の活躍
全国大会 優勝
国スポ出場 5 名
②県立施設における育成・強化事業
5 事業

取組 5 企業によるスポーツの活性化

- ①競技者として県内企業に所属しながら、継続して取り組んでいる選手の支援をします。
②競技者として活動しているスポーツ選手の活躍を応援することで、企業ブランドの認知力向上等を通して、企業力、経済への波及および地域の活性化を目指します。

到達目標

- ①国スポ選手の企業所属選手の割合
40%以上

取組 6 アスリートをサポートする医・科学支援体制の強化

- ①スポーツドクター・トレーナー・アドバイザーを各種大会等に派遣し、選手のコンディショニングを円滑に行い、安心して大会に臨めるよう支援します。
②アンチ・ドーピング啓発事業にも積極的に取り組み、意識・知識の向上を図ることでアンチ・ドーピング規則違反を防ぎます。

到達目標

- ①スポーツドクター・トレーナー等派遣事業
国スポ大会派遣：ドクター 12 名
トレーナー 25 競技
②アンチ・ドーピング研修会
研修会 5 回
ファーマシスト派遣 12 競技
③規則違反者 0 名

取組 7 競技団体の組織・運営体制の充実・強化

- ①国スポを契機に充実した競技団体のつながりを生かし、アスリートの派遣や交流（指導や種目間交流）の場を提供します。
②公認スポーツ指導者資格取得のための養成講習会の実施支援に取り組めます。
③各競技団体に対し、情報の提供や相談対応など組織の充実・強化を支援します。

到達目標

- ①アスリート派遣事業 10 名派遣
②養成講習会
毎年 3 競技団体

(4) 遊々(ゆうゆう)、

スポーツで地域滋賀を支える！

～Being of "Sports Shiga"～

≡ 「スポーツ滋賀」であること～

スポーツを通して、大勢の人々が集い、語りあい、ふれあい、身近にスポーツを楽しむ感動を共有することによって、人と人とのつながりを深めます。人々が健やかで豊かに暮らせる地域をつくり、スポーツの力で、明るく活力ある滋賀の well-being (※5) な未来を形成します。

(※5：肉体的、精神的、社会的にもすべて満たされている状態のこと)



取組1 大会レガシーを活かした郡市スポーツ協会との連携・協働推進

- ①滋賀国スポ・障スポ大会開催で伸長された各市町、郡市スポーツ協会の力を「スポーツ滋賀」の創造に向け具現化し、地域住民参加型のスポーツに親しむ機会の提供を郡市スポーツ協会との協働により推進します。
- ②郡市スポーツ協会との連携・協働を図り、イベントの開催、組織づくり（交流）を通してスポーツが魅力ある地域の交流の場として定着するよう支援します。
- ③郡市スポーツ協会が競技力の向上や生涯スポーツの推進、部活動地域展開(連携)に取り組めるよう、情報交換・意見交換を図るために研修会等を実施します。

到達目標

- ①郡市スポーツ協会との協働により取り組んだ事業数
毎年2イベント
- ②県民スポーツ大会郡市対抗の参加数(郡市参加点)
343点(2024年度)→400点(2029年度)
- ③県民駅伝競走の参加郡市数
5/16郡市(2024年度)→10/16郡市(2029年度)
- ④郡市スポーツ協会との情報交換・研修会の開催
2回(2024年度)→のべ10回(2029年度)

取組2 魅力ある「スポーツ滋賀」の発信

- ①スポーツ活動に参加しやすくなるようイベントの開催情報や、指導者、施設の利用に関する情報等をHPや広報誌、SNS、情報サイト「スポタル滋賀版」等、多種多様なメディア媒体を活用し提供します。
- ②各施設のホームページを充実させ、最新情報や競技スポーツの魅力を発信します。

到達目標

- ①協会HP閲覧数
67,000件(2024年度)→71,000件(2029年度)
- ②県立スポーツ施設からの情報発信数
スポタル投稿数(指定管理施設)
2か月に1回(2024年度)→月1回以上(2029年度)

取組3 スポーツイベントを活かした地域の活性化

- ①各スポーツ施設での大会やスポーツイベントの開催、国内外からの合宿誘致等に向けて、スポーツツーリズムの推進を図ります。
- ②地元協賛企業や観光関連団体とも連携を図り、経済波及効果を高められるように努めます。

到達目標

- ①指定管理施設における大規模イベントの開催数

取組4 国際スポーツ交流の推進

- ①日本スポーツ協会などと協力して、国際スポーツ交流を推進し、相互理解と友好親善を深めます。
- ②県内在住の外国人の方が、スポーツイベントに参加しやすいよう情報発信するとともに、イベント内での国際交流の実施を図ります。

到達目標

- ①外国への派遣・受け入れ事業数
1件（2024年度）→ 3件（2029年度）
- ②外国の方が参加したイベント数

取組5 共生社会の実現を目指したスポーツ振興

- ①誰もが気軽にスポーツ活動ができるように県民総スポーツの祭典において、性別・年齢・国籍・障害の有無を問わず、参加できる事業の開催を目指します。
- ②総合型地域スポーツクラブや民間事業者等と連携し、すべての県民が身近にスポーツを楽しめるよう、誰もが参加しやすいスポーツプログラムを提供します。

到達目標

- ①協会職員の障害者スポーツ公認指導者数
1人（2024年度）→ 6人（2029年度）

5 計画を実現するための組織の充実・強化

スポーツを楽しめる滋賀であるために

滋賀県スポーツ協会は、今後の100年に向けて、すべての県民が健康で幸福であることを実感できる社会の実現を目指し、変わりゆくスポーツのあり方を捉え、多様性にも配慮したスポーツを楽しめる地域づくりに貢献します。

安全・安心なスポーツ環境を整備し、スポーツを「する」機会を提供することはもとより、スポーツの力を正しく伝えることに取り組むとともに、スポーツを「みる」人や「支える」人から信頼される組織を目指し、その充実と強化を図ります。



主な経営目標

○正味財産比率 80%以上 ○流動比率 100%以上維持 ○賛助会員数の拡大

取組 1 経営基盤の強化

(1) 自己財源の充実

自己財源の充実を図るため、指定管理施設の利用料収益や教室参加料収益、協賛金収益を増やすなど、確実に収益を確保します。

(2) 適切なキャッシュフロー

費用に見合う収益を確保してキャッシュフローを適切に管理し、収益性の評価など評価結果に応じた予算を配分し、計画の実現に取り組めます。

(3) ステークホルダーとの連携

県民や民間事業者などステークホルダーのニーズを適切に捉え、指定管理施設では、プロスポーツイベントや大規模競技大会、催し物を誘致し、利用者数の増を図ります。

(4) パートナーを増やす取組

積極的な募集活動を行って賛助会員の拡大に努め、当協会の活動に賛同・支援していただけるパートナーを増やします。

(5) 情報発信とブランド力の強化

あらゆる情報媒体を活用した情報発信に努め、スポーツの魅力を伝えることにより、スポーツを支援する人の信頼を高め、協会のブランド力を強化します。

(6) 人材の育成

人こそが最大の経営資源であるという認識のもと、職員一人ひとりの能力を高めるとともに、誰もが能力を発揮できる環境の整備に取り組めます。

取組 2 スポーツ・インテグリティの向上

(1) スポーツの新たな視点への配慮

スポーツに対する価値を適切に捉えつつ、スポーツを推進する組織や活動に対する支援や、加盟団体の新規加盟など必要な取り組みを進めます。

(2) スポーツ・インテグリティの向上

スポーツが本来持つ価値を脅かす行為に対し適切に対応し、スポーツ活動を安全に、安心して楽しめる機会を提供します。

(3) ガバナンスとコンプライアンスの向上

当協会および加盟団体のガバナンス向上、スポーツ界のハラスメント根絶に取り組みます。

(4) 適切な組織運営を確保するための役員体制の整備

外部理事、女性理事の登用および外部評議員、女性評議員の登用について積極的に努めます。

(5) 研修の実施

コンプライアンス研修を開催し、職員の意識の一層の向上を目指すとともに、加盟団体対象の研修会を開催します。

取組 3 環境への配慮

(1) CO₂ネットゼロの取組

夏の暑さによる熱中症の増加や、気温上昇によってウィンタースポーツの実施が難しくなるなど気候変動の影響が懸念されるなか、スポーツイベントの脱炭素化やスポーツ活動における CO₂ネットゼロを目指した啓発の取り組みを進めます。

(2) SDGs の普及

スポーツを活用した SDGs の達成に貢献するため、指定管理施設における運動機会の提供事業やスポーツ普及事業において、清掃や奉仕活動、水質衛生保持などの活動を進めます。

(3) 環境経営

「滋賀県低炭素社会づくりの推進条例に基づく事業者行動計画書制度」に基づき、各事業所に環境推進員を配置し、省エネルギー対策や再生可能エネルギーの利活用など環境経営に取り組みます。

取組 4 スポーツの楽しさを伝える指定管理施設の取り組み

(1) 気軽に立ち寄れる環境の整備

スポーツをする環境が身近にある人の健康レベルが高まるというエビデンスのもと、指定管理施設に気軽に立ち寄れる機会を提供します。また、体力レベルの測定指標や健康に関する情報の提供など、県民の健康レベルを高める取り組みを進めます。

(2) スポーツの楽しさを伝える取組

人口減少が叫ばれ、スポーツ離れが進むなか、県や競技団体などの関係団体と連携してスポーツの魅力を伝え、「みる」スポーツの観戦などスポーツの楽しさを感じる機会を提供します。

6 第6次中期経営計画取得に対する成果指標

(1) 自分らしくスポーツを遊(す)る！

NO	取 組	成 果 指 標
1	スポーツを気軽に遊び 感覚で取り組む機会の 充実	① 当協会生涯スポーツ関連事業総参加者数の増加 ② 「運動遊び」「健康」「家族」に関連した取組数 ③ 各指定管理施設におけるスポーツ教室の開催数
2	子どもの運動遊びの普 及・推進	① 指定管理施設でのスポーツ教室やイベントにおける ACP・Pic を活用した事業数
3	女性が気軽にスポーツ を楽しめる場の充実	① 指定管理施設でのスポーツ教室・イベントへの女性参加者数
4	働く世代がスポーツを 始めるきっかけづくり の提供	① 関西ワールドマスタースへの県内参加者数 ② 指定管理施設でのスポーツ教室で初心者に参加出来る事業数 ③ 指定管理施設でのラジオ体操普及事業数

(2) スポーツで遊び場を創る！

NO	取 組	成 果 指 標
1	身近に感じる「滋賀県 民総スポーツの祭典」 の開催	① 県民スポーツ大会7部門における参加者数
2	スポーツ少年団活動の 充実とガバナンス向上	① スポーツ少年大会・ジュニア・リーダースクールの参加者数 ② 単位スポーツ少年団が保護者に対して「運営方針」を提示し ている団数
3	総合型地域スポーツク ラブの地域連携・協働 のための支援	① 総合型スポーツクラブのクラブマネジメント資格保有者数 ② 総合型スポーツクラブの公認スポーツ指導者数 ③ 県内総合型スポーツクラブにおけるガバナンスコードの遵守状況公表率
4	ジュニア・ユース世代 の活動促進	① 指導者研修会の満足度
5	地域スポーツ指導者へ の活動支援	① スポーツ指導者情報提供システムの登録者数 ② 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者数

(3) アスリートを育てる！

NO	取 組	成 果 指 標
1	「勇気と希望」を与え る選手団の編成と派遣	① 本大会選手派遣数 ② 天皇杯順位
2	滋賀で育った子どもた ちが全国・世界で活躍	① 滋賀レイキッズ出身選手の活躍 ② 近畿ブロック突破率(少年種別) ③ 国スポ少年選手入賞数

3	成年選手や指導者の育成・強化	① 近畿ブロック突破率(成年種別) ② 国スポ成年選手入賞数
4	県立施設の特性を活かした選手の育成・強化	① 湖上スポーツ育成・強化対策事業の活躍 ② 県立施設における育成・強化事業数
5	企業によるスポーツの活性化	① 国スポ選手の企業所属選手の割合
6	アスリートをサポートする医・科学支援体制の強化	① スポーツドクター・トレーナー等の派遣事業数 ② アンチ・ドーピング研修会数 ③ 国スポにおける規則違反者数
7	競技団体の組織・運営体制の充実・強化	① アスリート派遣事業における派遣人数 ② 公認スポーツ指導者養成講習会の開催団体数

(4) 遊々(ゆうゆう)、スポーツで地域滋賀を支える！

NO	取 組	成 果 指 標
1	大会レガシーを活かした郡市スポーツ協会との連携・協働推進	① 郡市スポーツ協会との協働により取り組んだ事業数 ② 県民スポーツ大会郡市対抗の参加数 ③ 県民駅伝競走の参加郡市数 ④ 郡市スポーツ協会との情報交換・研修会の開催
2	魅力ある「スポーツ滋賀」の発信	① スポーツ協会ホームページの閲覧数 ② 県立スポーツ施設からの情報発信数
3	スポーツイベントを活かした地域の活性化	① 指定管理施設における大規模イベントの開催数
4	国際スポーツ交流の推進	① 外国への派遣・受け入れ事業数 ② 外国の方が参加したイベント数
5	共生社会の実現を目指したスポーツ振興	① スポーツ協会職員の障害者スポーツ公認指導者数

組織の充実・強化

NO	取 組	成 果 指 標
1	経営基盤の強化	① 正味財産比率 ② 流動比率 ③ 賛助会員数
2	スポーツ・インテグリティの向上	
3	環境への配慮	
4	スポーツの楽しさを伝える指定管理施設の取り組み	

資料 第1次～5次中期経営計画の取組経過と成果

(1)第1次中期経営計画(平成19年度から平成21年度)

「新たなスポーツ空間へのチャレンジ」

<具体的な取り組みと成果>

- 日本スポーツマスターズ2007びわこ大会等の開催
13競技、選手・監督・競技役員11,000名、応援含む総勢30,000名が参加しました。
- 総合型地域スポーツクラブの創設等を支援する滋賀県広域スポーツセンターを設置
平成19年度 6クラブ、平成20年度 合計43クラブが設立しました。

国民体育大会総合順位

平成19年度	第62回	秋田国体	天皇杯 26位	皇后杯 21位
平成20年度	第63回	大分国体	天皇杯 39位	皇后杯 31位
平成21年度	第64回	新潟国体	天皇杯 38位	皇后杯 31位

(2)第2次中期経営計画(平成22年度から平成24年度)

県民から支持される「新たなスポーツ協会ブランドの確立」

<具体的な取り組みと成果>

- 地域、学校、各スポーツ関係、健康福祉関係団体等との連携を図り、生涯スポーツを推進するとともに、総合型地域スポーツクラブ、6クラブが増設され、合計49クラブが設立しました。
- 競技団体との連携により競技力向上の基盤となるジュニア層の育成と一貫指導体制の充実、指導者の養成、競技力向上の基盤づくりに努め、平成24年度の岐阜国体では、少年種別で得点257点を獲得(岐阜国体819点 天皇杯32位)しました。

国民体育大会総合順位

平成22年度	第65回	千葉国体	天皇杯 30位	皇后杯 27位
平成23年度	第66回	山口国体	天皇杯 34位	皇后杯 29位
平成24年度	第67回	岐阜国体	天皇杯 32位	皇后杯 29位

- 公益財団法人へ移行
平成24年4月1日に公益法人格を取得し、移行とともに専門委員会に広報委員会を設置し、これまでの広報誌を刷新し、スポーツを応援いただく県民目線の「Bispo!+(ビスポ)」を作成しました。
- 彦根総合運動場のプール事故について
平成24年8月31日に彦根総合運動場プールで死亡事故が発生しました。事故原因究明と事故未然防止を検討するため外部委員を含む事故調査班を設置し、事故報告書をまとめ県に提出しました。また平成25年2月に事故への対策として、顧問弁護士と契約し事故の再発防止に努めました。

(3)第 3 次中期経営計画(平成 25 年度から平成 27 年度)**2 巡目国体への躍進****<具体的な取り組みと成果>**

- 生涯スポーツの推進を図るため、地域スポーツへの活動支援や県民のスポーツ意欲を促す各種スポーツイベントを開催しました。
 - ・ 総合型地域スポーツクラブ 5 クラブ増設 合計 54 クラブ設置
平成 26 年度から新たに県からの委託事業で「地域スポーツ指導者研修会」と「地域コミュニティ促進事業」を実施
 - ・ 平成 25 年度日韓青少年スポーツ交流事業実施(日体協受託事業) 受入 213 名 派遣 98 名
 - ・ 2024 年滋賀国体開催記念講演会開催
 - ・ 県民総スポーツの祭典、びわ湖男女駅伝フェスティバル、レイクサイドマラソンの開催
- 2024 年滋賀国体開催内々定(平成 25 年 7 月)を受け、競技力の総合的な向上を図るため、滋賀の競技力向上基本計画を策定し、県に提出(平成 25 年 8 月)しました。
- 平成 26 年 12 月に県が策定した「滋賀県競技力向上基本計画」に基づき、平成 27 年 3 月「滋賀県競技力向上対策本部」が設置されました。

国民体育大会総合順位

平成 25 年度	第 68 回	東京国体	天皇杯 40 位	皇后杯 28 位
平成 26 年度	第 69 回	長崎国体	天皇杯 35 位	皇后杯 34 位
平成 27 年度	第 70 回	和歌山国体	天皇杯 24 位	皇后杯 26 位

- 公益財団法人滋賀県体育協会創立 90 周年記念事業を実施し(平成 27 年 10 月)、これまで協会を支えていただいた滋賀県をはじめ加盟団体や多くの関係者に感謝するとともに、本県のスポーツ振興を果たしてきた 90 年の足跡をたどり、来るべき創立 100 周年に向けた新たな出発点としました。
- 指定管理に関しては、平成 26 年度から、県立長浜ドーム、県立彦根総合運動場、県立体育館、県立武道館について引き続き指定を受けることができました。また平成 27 年度で指定管理期間が満了する県立スポーツ会館、県立琵琶湖漕艇場、県立栗東体育館、県立柳が崎ヨットハーバー、県立アイスアリーナの 5 施設に応募し、引き続き指定管理者として指定されました。
- 彦根総合運動場のプール事故について
平成 27 年 8 月に滋賀県、当協会、遺族側との和解が成立し、賠償金を支払いました。今回の事故を重く受け止め、危機管理、コンプライアンス対策の強化に取り組みしました。

第 3 次中期経営計画(平成 25 年度～平成 27 年度)期間における主な動向

- 【国】 ◆東京オリンピック・パラリンピック開催決定(平成 25 年 9 月)
- ◆ スポーツ庁発足(平成 27 年 10 月)
- 【日体協】 ◆ 21 世紀の国民スポーツ推進方策策定(平成 25 年 6 月)
- ◆ 日本体育協会倫理規程改正(平成 26 年 3 月)
- ◆ 日本体育協会スポーツ憲章策定(平成 27 年 3 月)

- 【近畿】 ◆ 関西ワールドマスタースゲームズ開催決定（平成 25 年 11 月）
- 【滋賀県】 ◆ 2024 年滋賀国体開催内々定（平成 25 年 7 月）
 - ◆ 2024 年滋賀国体開催準備委員会発足（平成 25 年 10 月）
 - ◆ 滋賀県競技力向上基本計画策定（平成 26 年 12 月）
 - ◆ 滋賀県競技力向上対策本部設置（平成 27 年 3 月）
 - ◆ 新しい滋賀の魅力をつくる文化スポーツ戦略策定(平成 27 年 3 月)
 - ◆ 滋賀県スポーツ推進条例制定（平成 27 年 12 月）

(4)第 4 次中期経営計画(平成 28 年度から平成 30 年度)

「スポーツ健康滋賀」の実現と 2024 年滋賀国体の成功を目指して

<具体的な取り組みと成果>

- 生涯スポーツの推進については、人口減少社会を迎えた中で、スポーツの力で滋賀を元気にし、「活力あるスポーツ健康滋賀」の実現に向けて、地域スポーツの活動支援、魅力あるスポーツイベントの実施等各種スポーツ振興事業を積極的に推進するとともに、スポーツ環境の充実を図るため、各指定管理施設の特性を活かしたスポーツ活動の拠点として、県民の健康増進やジュニア世代の育成に重点を置いた事業を展開しました。
- 平成 26 年 12 月に県が策定した「滋賀県競技力向上基本計画」に基づき、平成 27 年 3 月「滋賀県競技力向上対策本部」が設置され、当協会も事務局を構成し、ジュニア層の育成と成年に至る一貫した強化体制の充実と指導者の養成に努めました。

国民体育大会総合順位

平成 28 年度	第 71 回	岩手国体	天皇杯 33 位	皇后杯 38 位
平成 29 年度	第 72 回	愛媛国体	天皇杯 39 位	皇后杯 42 位
平成 30 年度	第 73 回	福井国体	天皇杯 31 位	皇后杯 35 位

- 指定管理に関しては、平成 30 年度で指定管理期間が満了する彦根総合運動場、県立体育館、県立武道館、県立琵琶湖漕艇場、県立長浜バイオ大学ドームの 5 施設に応募し、引き続き指定管理者として指定されました。
- 彦根総合運動場の 2024 滋賀国スポ・障スポに向けた整備について
彦根総合運動場の 2024 滋賀国スポ・障スポ主会場整備に向けた野球場以外の施設の閉鎖処理対応や、平成 30 年度に指定管理期間が最終年度となる施設については、次回の公募に向けて評価を行いました。

第 4 次中期経営計画（平成 28 年度～平成 30 年度）期間における主な動向

- 【国】 ◆ 第 2 期「スポーツ基本計画」を策定（平成 29 年 3 月）
- 【日スポ協】 ◆ 日本体育協会スポーツ推進方策 2018 策定（平成 30 年 1 月）
- 【滋賀県】 ◆ 滋賀県競技力向上基本計画改定（平成 29 年 7 月）
 - ◆ 第 2 期滋賀県スポーツ推進計画（平成 30 年 3 月）

(5)第 5 次中期経営計画(平成 31 年度から令和 6 年度)**「2025 年滋賀国スポ・障スポの成功と創立 100 周年に向けての具体的施策の方向」****<具体的な取り組みと成果>**

○ 2025 滋賀国スポ・障スポの成功

滋賀県競技力向上対策本部とともに競技力向上に取り組んだ結果、「SAGA2024」国スポでは天皇杯(男女総合成績)8 位、皇后杯(女子総合成績)で 11 位という成績を収め、2025 年開催の滋賀国スポに向け競技力が向上しました。

国民体育（スポーツ）大会総合順位

令和元年度	第 74 回	茨城国体	天皇杯 30 位	皇后杯 28 位
令和 2 年度	第 75 回	鹿児島国体	中止	
令和 3 年度	第 76 回	三重国体	中止	
令和 4 年度	第 77 回	栃木国体	天皇杯 20 位	皇后杯 24 位
令和 5 年度	特別	鹿児島国体	天皇杯 17 位	皇后杯 15 位
令和 6 年度	第 78 回	佐賀国スポ	天皇杯 8 位	皇后杯 11 位

- 地域スポーツへの活動支援では、総合型クラブの充実に向けた中間支援組織や登録・認証制度が導入され、55 クラブ中 30 クラブが登録クラブとなる予定です。(令和 7 年度現在)
- 滋賀県民総スポーツの祭典で、「交流の部」を開催しました。(令和 6 年度)
- 「世界ボートジュニア選手権大会」(令和元年)および「東京 2020 オリンピック」(令和 3 年)に向けた N Z ボートチームの事前合宿を滋賀県で開催しました。
- 指定管理に関しては、令和 2 年度で指定管理期間が満了する 6 施設に応募し、引き続き指定管理者として指定されました。また、令和 4 年度で終了する 1 施設、令和 5 年度終了 1 施設、令和 6 年度終了 3 施設に応募し、引き続き指定管理者として指定されました。

令和 3 年度 スポーツ会館（2 年間）・彦根総合運動場（2 年間）

琵琶湖漕艇場（5 年間）・栗東体育館（5 年間）

ヨットハーバー（5 年間）・アイスアリーナ（5 年間）

令和 5 年度 スポーツ会館（1 年間）・彦根総合スポーツ公園（5 年間）

令和 6 年度 スポーツ会館（1 年間）

令和 7 年度 スポーツ会館（1 年間）令和 7 年度閉館・長浜ドーム（1 年間）

体育館・武道館（1 年間）令和 7 年度体育館閉館

第 5 次中期経営計画（平成 28 年度～平成 30 年度）期間における主な動向

- 【国】 ◆ スポーツ団体ガバナンスコード策定（令和元年 8 月 27 日）
- ◆ 東京 2020 オリンピック開催（令和 3 年 7 月 23 日～8 月 8 日）
- ◆ スポーツ団体ガバナンスコード改定（令和 5 年 11 月 30 日）
- 【日スポ協】 ◆ JSPO 中期計画 2023-2027 策定（令和 5 年 3 月）
- 【滋賀県】 ◆ 滋賀県競技力向上基本計画改定（平成 29 年 7 月）
- ◆ 第 3 期滋賀県スポーツ推進計画（令和 5 年年 3 月）